

補助事業番号 24-4-049
補助事業名 平成24年度 (復興支援) 被災地域の記録活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

災害から避けることも、被害をゼロにすることもできない。また、記録に残さなければ風化され忘れ去られてしまう。今回の震災により様々な教訓を得ることができた。しかしながら、多くの貴重な情報が点在しており集約されていない。被災した認知症グループホーム及び復興、復旧に携わる団体、個人の情報を収集しその情報を整理することが、今後の災害時対策に大きく寄与すると考える。

災害対策は、日頃からの備えである事前対策と、災害発生時の対策の両方が必要である。災害時のみの対策では対応しきれないことが明らかとなった。認知症グループホームを取り巻く様々な要素を的確に把握して、起こりうる事象を可能な限り洗い出し、それぞれに適切な対策を練るべきである。

記録活動を実施することにより、より具体的な観点から災害対策の重要性を訴えていくことを目的とする。

(2) 実施内容

事業検討委員会、現地訪問調査、アンケート調査、モデル研修等の内容を踏まえ事業報告書を作成

被災地域の記録活動～東日本大震災から多くを学ぶ～事業報告書を掲載

http://ghkyo.or.jp/top/modules/pico/index.php?content_id=50 (URL)

①モデル研修

・東日本大震災から多くを学ぶためのモデル研修を実施

日時：平成25年2月15日(金) 13:00～16:00

場所：静岡県総合福祉会館 シズウエル (静岡県静岡市)



②現地訪問調査

対象)

- ・被災地域認知症グループホーム事業所（岩手県、宮城県、福島県）
- ・被災地支援認知症グループホーム事業者及び従事者



③東日本大震災から多くを学ぶ研修会

- ・東日本大震災から多くを学ぶためのモデル研修を実施
日時：平成25年3月8日（金）10：00～16：30
場所：新宿文化センター（新宿区）



2 予想される事業実施効果

被災した認知症グループホーム、自治体、地域及びそれに携わった団体、個人から情報を収集することにより、発災、復興、復旧、今後の展開等について、その状況、立場等における果たしてきた役割、結果等を、報告書・研修会等において普及啓発することにより、災害時のその時その時に何が起こったのか、またその後どうなったのかを理解することにより、災害時対策とは何かを検討する資料とする。

3 本事業により作成した印刷物等

被災地域の記録活動～東日本大震災から多くを学ぶ～事業報告書を掲載

http://ghkyo.or.jp/top/modules/pico/index.php?content_id=50 (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

住所 : 〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3四谷オーキッドビル8階

代表者名 : 代表理事 木川田 典彌 (キカワダ ノリヤ)

担当者名 : 事務局 橋詰 清 (ハシヅメキヨシ)

電話番号 : 03-5366-2157

FAX番号 : 03-5366-2158

URL : <http://ghkyo.or.jp/top/>